

104. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) に脳卒中を 発症した患者の臨床的特徴を明らかにする研究

研究の概要

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染症(COVID-19)の拡大は勢いを増し、国民の健康、経済、医療に甚大な影響を与えています。COVID-19の重症患者は、高齢、男性、高血圧、糖尿病、腎機能障害、心臓病を有することがリスクだと言われており、これらは脳卒中（脳梗塞と脳出血）の発症リスクとも共通します。またCOVID-19では感染により血栓を生じやすくなるとされ、脳梗塞を発症する状況に
まりやすいと推測されます。以上からCOVID-19患者では脳卒中の発症リスクが高まる可能性があります。脳卒中とCOVID-19の関連は限られた報告しかないのが現状です。

研究の目的と方法

本研究の目的は、COVID-19陽性例の脳卒中患者の臨床的特徴を明らかにすることです。日本医科大学を研究代表機関として、当院を含む日本脳卒中学会が認定した全国の一次脳卒中センター900以上の病院が協力して研究を行います。それら施設でCOVID-19に脳卒中を発症し入院治療を受けられた方について、患者情報や検査結果を登録し、日本医科大学に情報を集めて臨床的特徴を検討します。研究においては個人を直接特定できる情報は使用されません。また検査や治療の方針については、本研究への参加の有無に一切左右されることはありません。あくまで担当医師が判断して、その時点での最善を尽くします。

本研究の参加について

この研究は、患者さんの臨床情報を収集して解析する「観察研究」ですので、研究そのものによって生じるリスクは一切ありません。患者さんがこの研究に参加されるかどうかは、ご自身の自由な意思で決定されます。たとえ参加に同意されない場合でも患者さんは一切不利益を受けず、これからの治療に影響することはありません。またいつでも研究への参加を取り消すことができます。もしこの研究への情報提供をお断りになる場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

患者さんの年齢や性別、既往歴や内服薬、画像検査、血液検査などの検査データ、脳卒中の治療経過などの情報を調査します。これらの情報は患者さんが特定できないように匿名化して取り扱います。患者さんの氏名、住所、生年月日など、個人を特定しやすい情報は調査しません。

調査期間

研究対象期間：2020年1月1日～2021年5月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～2022年5月31日まで

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは集団として分析され、学会発表、学術雑誌などで公表されます。しかし個人が特定されることはありません。

研究代表者

日本医科大学付属病院 脳卒中集中治療科 木村和美

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 脳神経内科 幸崎弥之助

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 脳神経内科 幸崎弥之助

TEL: 096-353-6501